



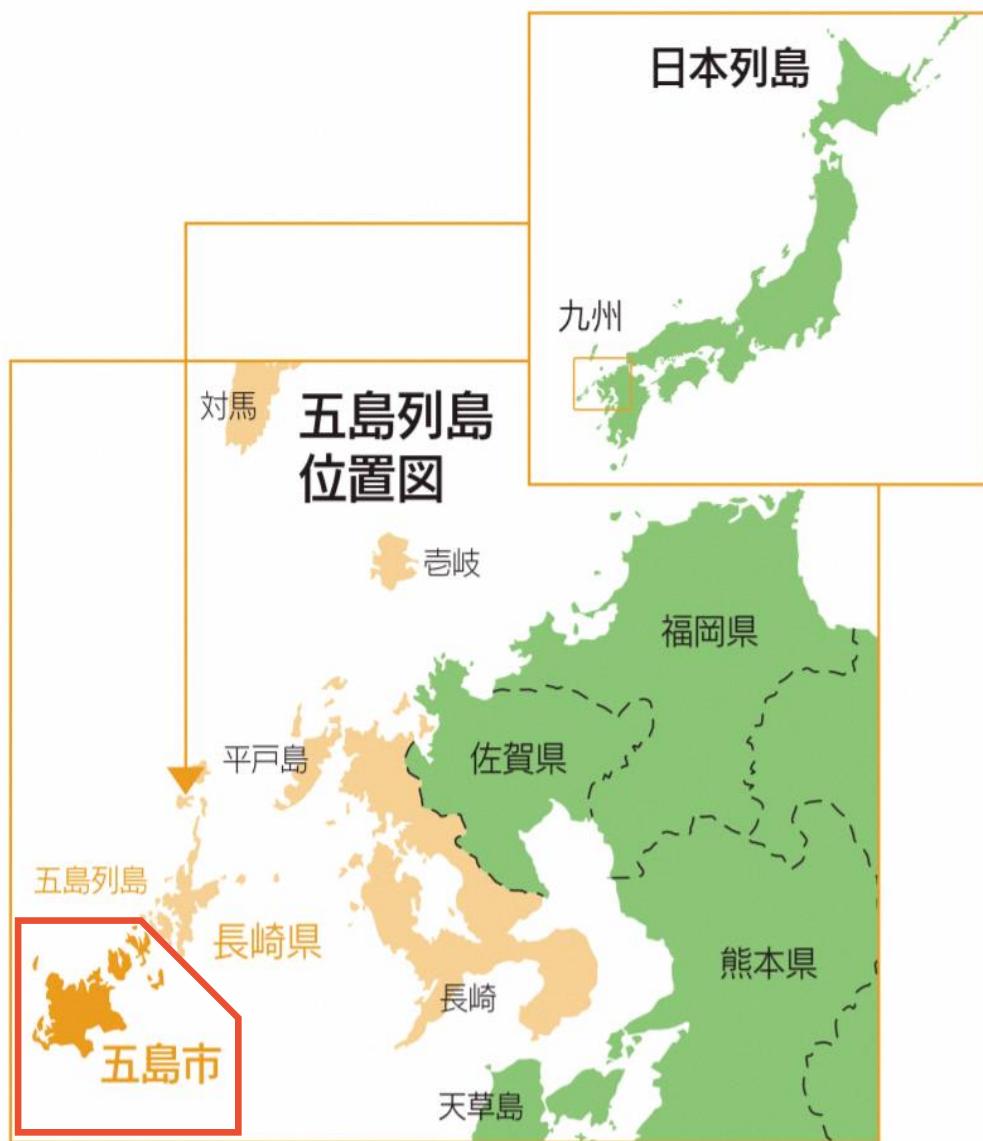
五島市における協働の取組みと農村RMOへの支援

五島市地域協働課 山下大輔
令和7年11月27日

構成

1. 五島市の概要
2. 五島市における地域運営組織の概要
3. 山内地区におけるモデル事業の取組
 - (1) 山内地区（五島市岐宿町）の概要
 - (2) 農村RMOの取組までの支援
 - (3) 農村RMO活動の課題への対応と支援
4. 地域に求めること・期待すること

五島市の概要（位置）

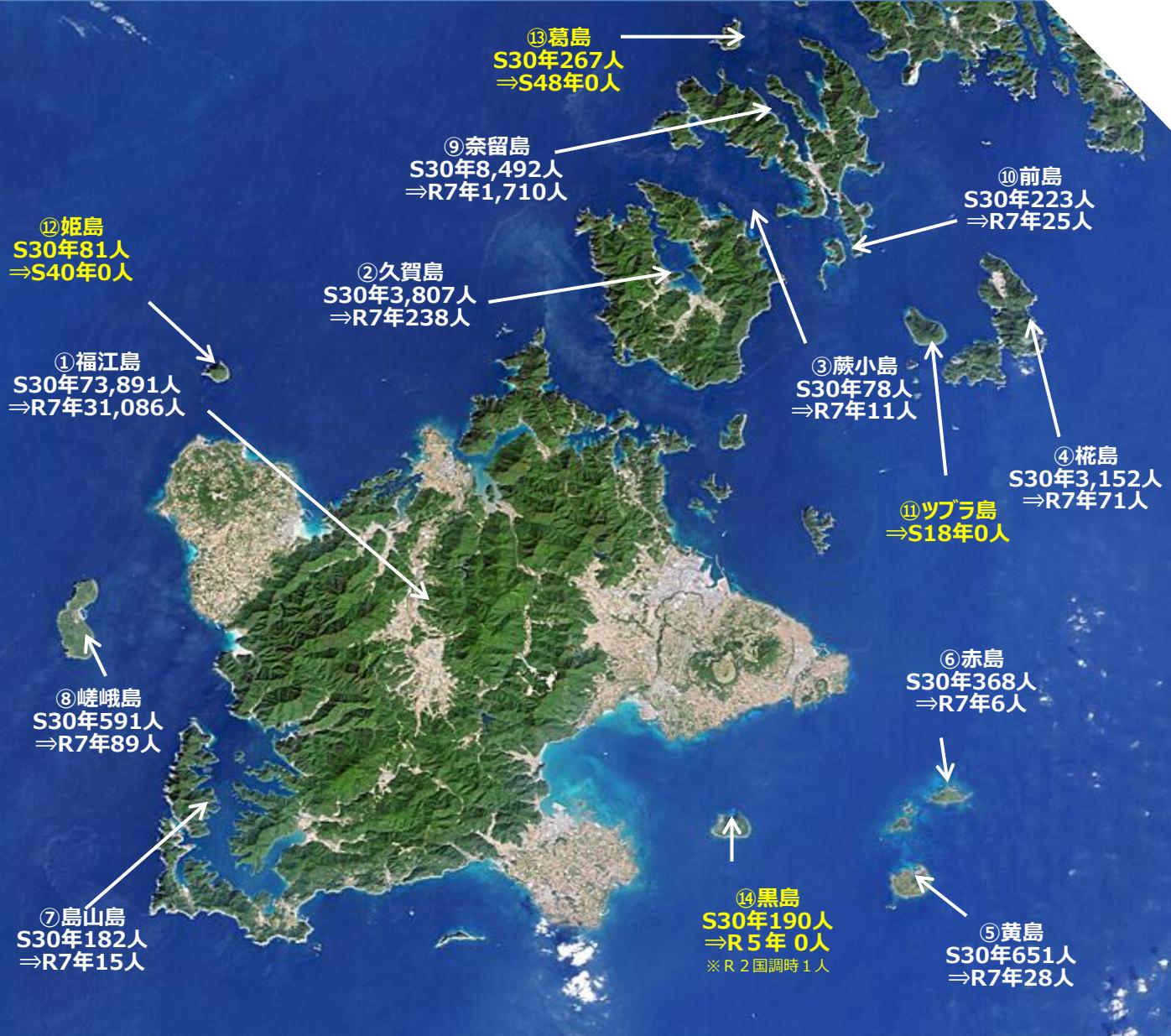


長崎市から西へ100km離れた 10の有人島と53の無人島で構成



▼面積：約420km²
(横浜市とほぼ同じ)

五島市の概要（人口／島ごとの人口）



■五島市の人口

91,973 人

1955 (S30) 年



33,224 人

2025 (R7) 年10月末

10の有人島

53の無人島



島が島を支える

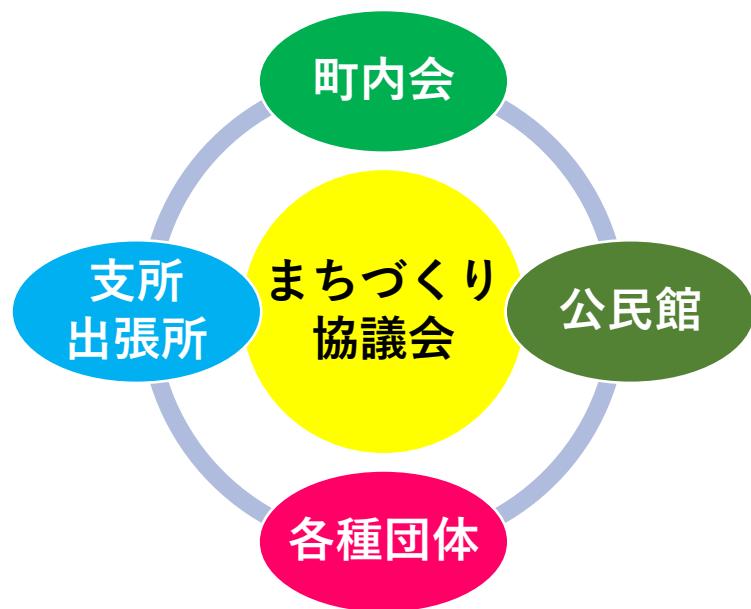
地域運営組織の概要（まちづくり協議会の設立）

まちづくり協議会とは、**自分たちが住むまちを**、安心して住み続けられる、また、住みたいと思えるまちづくりのために、**地域の課題を、自分たちで自主的・主体的に考え実践する組織**です。

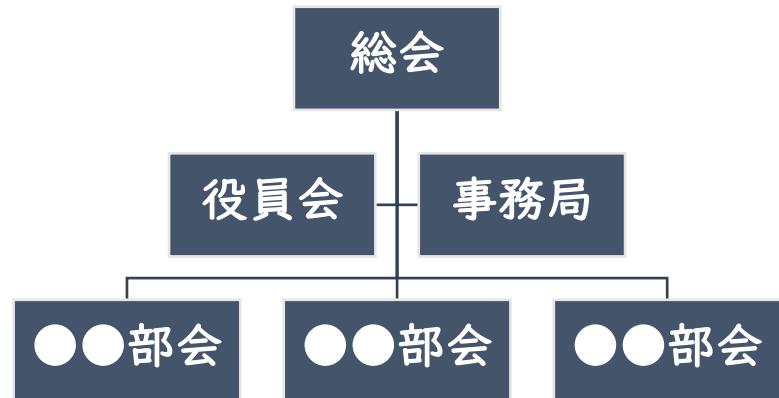
平成26年度 モデル地区として3地区（奥浦・三井楽・奈留）で実証事業開始

平成27年度 市内全地区に拡大…市内13の公民館単位で設置

【主な構成団体】

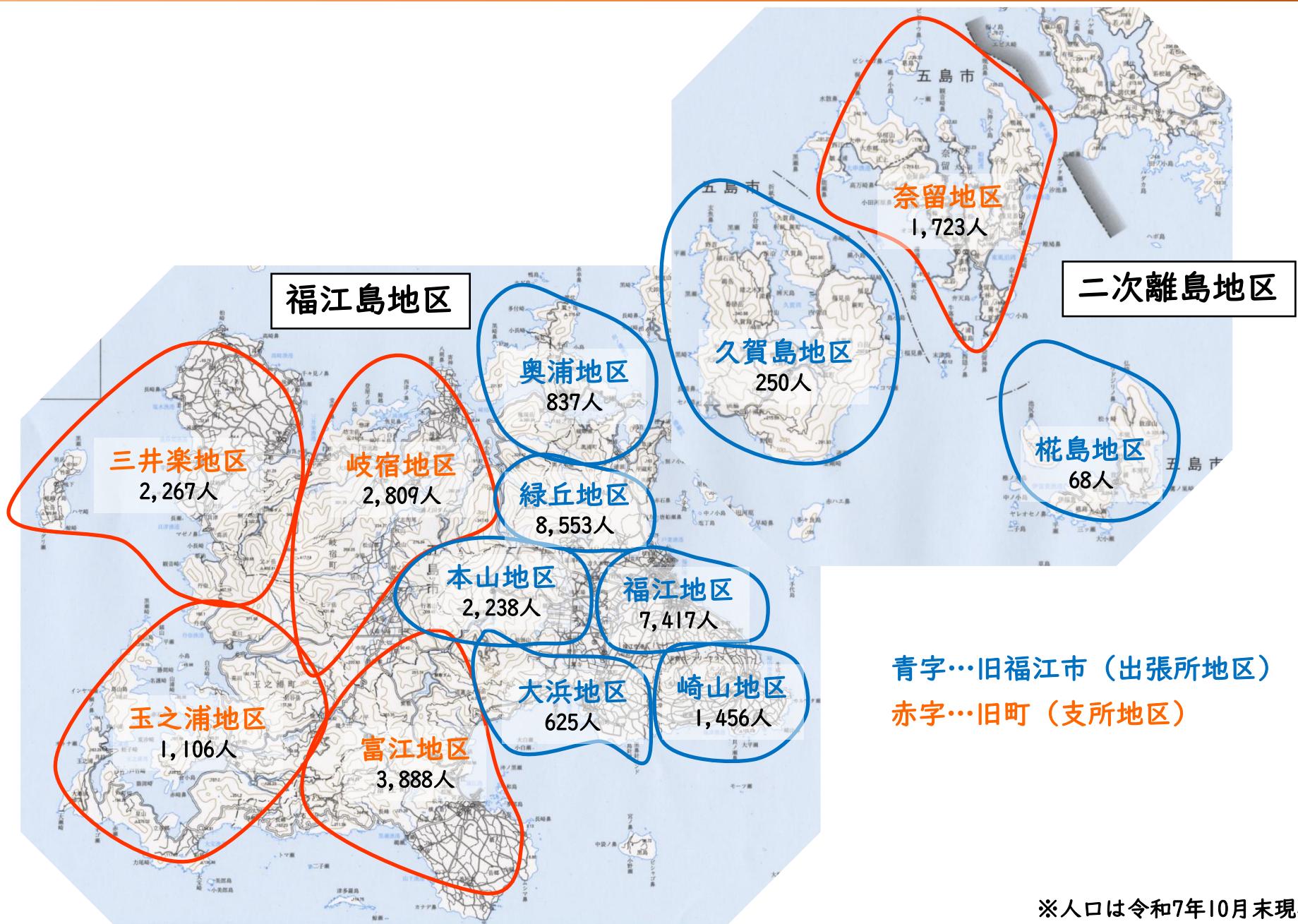


【主な組織構成】



部会（例） 町内会活動部会／文化・教育部会
地域振興部会／福祉保健部会

地域運営組織の概要（まちづくり協議会の分布）



地域運営組織の概要（まちづくり協議会への支援）

① 財政的支援

「五島市地域の絆再生事業交付金交付要綱」の制定（H26.3.28制定）

地域住民が互いに支え合う「地域の絆」の再生を図り、地域の特性を活かしたまちづくりを推進する事業を行う協議会に対して交付金を支給

② 人的支援

- 各協議会に事務局として**集落支援員**（会計年度任用職員）を配置
※13地区 12名（1地区は兼任）
- 支所・出張所職員を協議会事務局員・事務局長とする
- 令和4年度から6年度まで**地域プロジェクトマネージャー**を本庁に配置

③ 活動拠点の確保

支所・出張所執務室を協議会事務局として使用

④ 会議や研修会の実施、助言・指導

- 定期的な情報交換会や活動報告会による各協議会の取組や課題を共有
- 各種研修会や視察等を実施
- 総括となる地域協働課から適宜、助言やアドバイスを行う

まちづくり協議会の活動事例

居場所づくり

地域食堂（おおはま食堂）【大浜地区】



地域の方が料理を作る食事会を月1回開催。日頃外食をしない高齢者にとっては楽しみの場となるとともに、地域の見守りの場に。近年は高齢者以外も参加し、地域内の交流の場ともなっている。利用者からは、「美味しい食事をいただきながら地域の方とお話ができる機会が嬉しい、開催日を楽しみにしている」と好評。1回の利用者数は30～40人。1人300円

まざっこルーム【奈留地区】



子育て家庭の集まりの場、親子同士の交流による子育て環境づくりに取り組んでいます。未就学児とその親の孤立化の解消となっている。

まちづくり協議会の活動事例

地域拠点の創出

健康観察や子育て支援「まちなか保健室」【岐宿地区】



高齢者の健康観察や
困りごと相談、子育て支援



包丁研ぎサービス
⇒高齢者の生きがいづくりに

【きっかけ】北海道から移住された1人の女性（元看護師）の方が地域を元気にするために自分ができることないかと集落支援員に話を持ちかけたことがきっかけで、長寿対策の生活支援コーディネーター(SC)を巻き込んで血圧測定や健康観察を週1回水曜日12：00～15：00(3h)に開設。高齢者だけでなく、転勤や移住で人の繋がりを求めている人の集いの場になり、現在は10：00～15：00に時間延長。ボランティアも広がり、主たるメンバーが不在でも開設ができるようになってきています。

まちづくり協議会の活動事例

買い物支援

買い物ツアー【大浜地区】



移動販売【奈留地区】

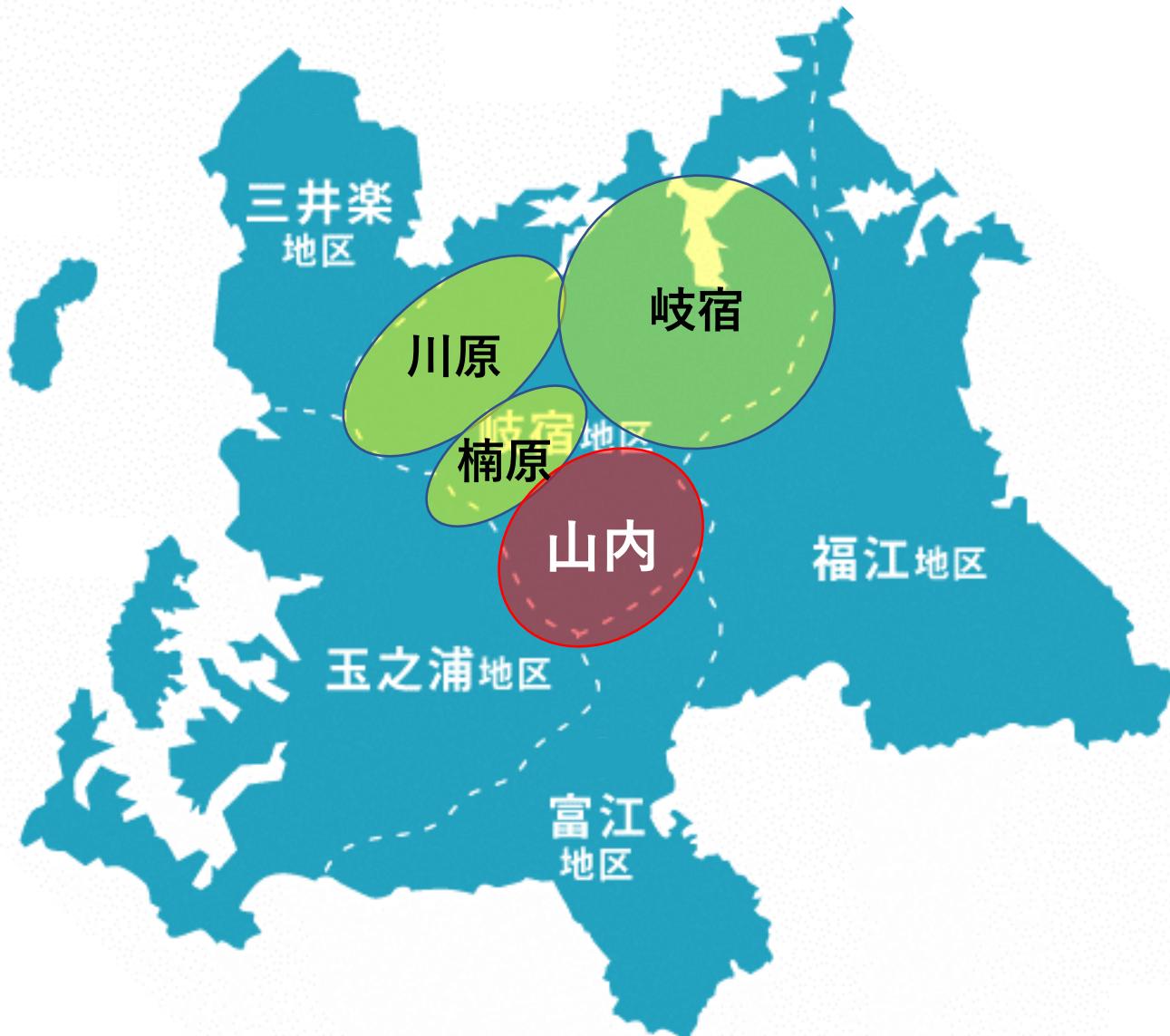


座談会で挙がった、買い物へ行く交通手段に困っていることを解決するため月に1回開催している。家の近くで乗り降りできてとても助かっている。事務局主導になっているので自主的な活動に繋げることが難しい。スタッフ確保や仕組みづくりが課題。

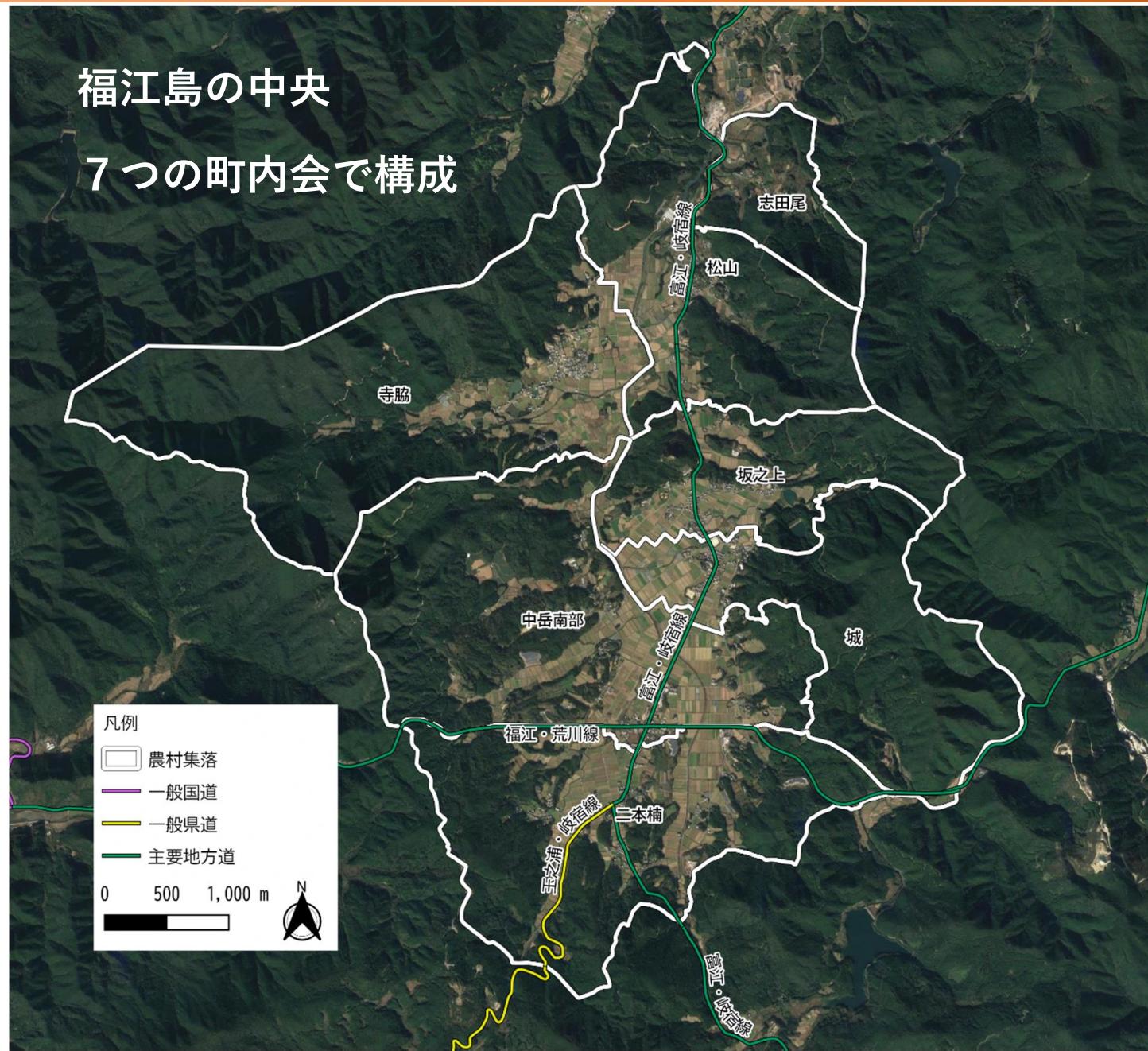
県の補助金を活用して購入した移動販売車を活用し、運営を民間事業者に委託。商店がない周辺集落へ週1～2回巡回。事業者による見守りや交流の場にもつながっている。近年は、スーパーの閉店により島の中心部の巡回も行っている。

山内地区におけるモデル事業の取組

山内地区の概要（位置）



山内地区の概要（地形）



山内地区の概要（風景）



山内地区の概要（特産品）



農村RMOの取組参加の経緯（特産物祭り「ごろっと」）



農村RMOの取組参加の経緯と取組前までの支援

地域プロジェクトマネージャーの伴走支援

アドバイス
「軽トラ市」の提案

管理構想の
提案・申請支援

関係機関との調整
講師の招へい

計画書の作成支援
関係者への説明

「話し合い」
支部独自の活動を！

「次の一手」を！

まちあるき・
ワークショップ

若者団体設立
「やまぼん会」



成功体験

地域内外から
1500人を集客
→機運の醸成

各種データを集約
住民主体の話し合い
により地域の将来像
や土地の管理のあり方
をまとめた
→地図上に見える化

地域管理構想策定の
ためのワークショップ
で出た意見・アイデア
をもとに計画を作成

若者団体を中心
に活動を開始

まちづくり協議会の
部会制から支部制へ
2024年には
公民館分館が廃止
→まち協支部へ移行

農村RMOの活動を始めると…

- 役員交代による影響
→ 意識・情報共有に時間を有した
- 計画段階の不十分な役割分担
→ 計画した取組が十分実行できなかつた

農村RMO活動の課題

地域プロジェクトマネージャーの伴走支援

アドバイス
「軽トラ市」の提案

「話し合い」
支部独自の活動を!

支部制
への改編
2021年

管理構想の
提案・申請支援

「次の一歩」を!

ごろっと
開催
2020年

関係機関との調整
講師の招へい

短期間での調整
住民への周知不足

地域管理
構想策定
2023年

計画書の作成支援
関係者への説明

新団体設立
「まちぼん会」

農村RMO
計画策定
2024年

農村RMO
取組開始
2025年

イベント型から
事業型への転換
の意識不足

WS意見の熟度
不十分な合意形成

まちづくり協議会の
部会制から支部制へ
2024年には
公民館分館が廃止
→まち協支部へ移行

地域プロジェクトマネージャーが主導 → 地域が置き去りに…「やらされ感」

課題への対応と支援

① 農村RMO活動の目的、制度、計画の再確認

- ・山内支部内で目的や計画を再確認するための勉強会等を開催
- ・研修会への参加、視察の実施

② 組織改編とプロジェクトタイプでの活動

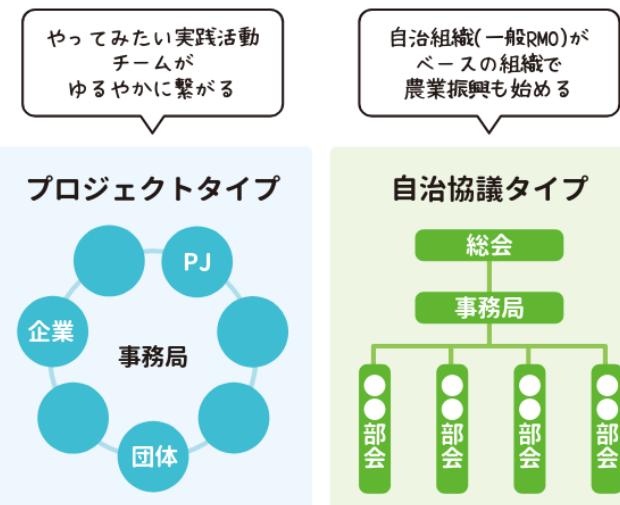
- ・山内支部（旧公民館山内分館）の構成員はほとんどが「あて職」であり、意識や機動性に限界があるため組織の改編を提案

→支部構成員を中心とした「農村RMOチーム」

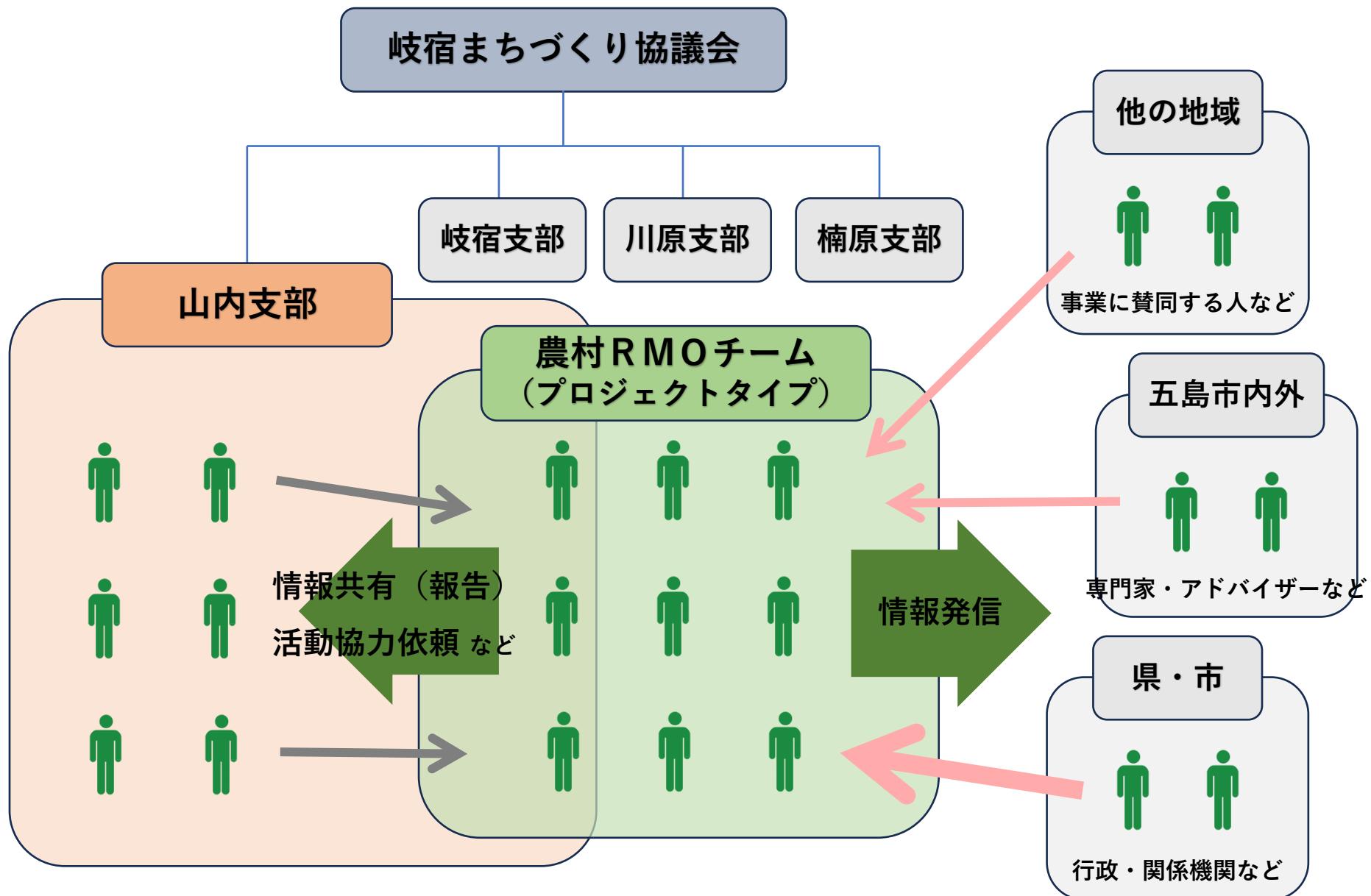
を結成し、多様な人材が参画できる体制と
機動性のある組織へと改編

（チーム内で意思決定）

→役割を明確にするため、事業ごとの担当
を決め、プロジェクトタイプでの活動を
開始



岐宿まちづくり協議会体制図



課題への対応と支援

③ 外部人材や団体、県・国とのパイプ役

- 活動に必要な専門性を持った外部人材等との調整等

R6年度は、住民への啓発活動とビジョン策定を目的として、

専門家の招へいを実施（NPO法人いわて地域づくり支援センター 若菜千穂氏）



住民集会「進め！山内のミライへ」

④ 事務のサポート、情報提供等

- 会議の開催や計画づくり等、住民が不慣れな点をサポートしつつ、将来的に住民主体の運営ができる体制づくりを支援

令和7年度の新たな活動



定例会（月1回開催）



Instagramによる情報発信

地域に求めること・期待すること（行政の役割）

① 住民主体のまちづくり

地域 住民が主体的に話し合って課題解決に取り組む意識と体制づくり
地域のことをワガゴトに！

行政 まちづくり（地域運営組織）の必要性の周知・啓発
「五島市協働のまちづくり基本方針」（令和7年4月策定）

② 多世代の仲間集め

地域 地域内外のネットワークづくり
幅広い年代・多様な人材の参画を促す

行政 外部人材制度の活用とマッチング

③ 地域の担い手育成

地域 地域を担う人材、リーダーとなる人材の発掘と育成
行政 学びや経験の機会の提供

ご清聴ありがとうございました

やまぼん

山内イメージキャラクター

やまぼん公式LINEスタンプ



やまぼんを
ぜひ
日常使い
してね!



山内公式
Instagram



@goto_yamauchi

やまぼん
Instagram



@yamauchibonnchi

HP
(農村RMO)

